

平成26年11月15日（土）の「仏教女性の集い」

赤く染まった木々に映える晩秋の知恩院周辺は、観光バスの往来が賑やかで観光地、京都は最も活気づいた季節。東山の麓で静かに「仏教女性の集い」は始まりました。



近藤先生はお話の冒頭、赤や黄色に色づいた街並と共に阿弥陀様の供え花が紅葉に飾られているお姿がとても美しいと言われたベストショットを並べてみました。

ご法話は「浄土宗日常勤行式」より四奉請・懺悔文の解説をして下さいました。四奉請では 如来=佛をお迎えして唱える。有りとあらゆる世界で生きているが、染まらないで生きて行く。懺悔文では 罪=我 自分を中心に物事を考え行ってしまう。罪を作れば仏は悲しむ。わたくし**我**と言う、我が生じていく。それら諸々、全てを懺悔します。

タター ガタ
tathāgata とサンスクリット語で読まれている。tathā とは如、(真如) gata とは(来る・去る)で如来如去と訳されている。如来で迎えに来て下さり、如去で連れて行って下さる。南無阿弥陀仏と唱えながら仏の中に入って行く。いつも繰り返しお話をして下さいながら内容を耳を傾けながら、お経の内容を一つずつ解釈して話して頂き、心の持ち方が少しずつながら変わって行く事が出来るようになった気がします。

(参加者感想 K. O)



亥の子餅

お茶のお接待では、京丹後市西方寺 川本剛空上人が「如如」と書かれた菓子器が出て参りました。偶然にも今日のご法話にあった「如来如去」と同じ意味する言葉であると、器を順番に拝見をして、先生からご法話の続きになるお話をして頂きました。

参加者の中に、「難しいことは分かりませんが、月に一度このような機会に出会い、振り返ってみると自分自身の中に変化が生まれ、変わって来られたような気がします。以前の私だったら考えもしなかった自分自身に出会い、これが少し進歩しているのかなあ〜と思える」と話されていた言葉に同じ思いをさせて頂いた瞬間でした。

次回の「仏教女性の集い」は平成 26 年 12 月 20 日です。

「仏教女性の集い」は毎月第 3 土曜日、1 時～4 時
参加費 1,000 円 宗教・宗派は問いません。
条件は女性であることだけです。
多数のご参加お待ちしております。
市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩 150m

『吉水尼僧庵』（旧尼僧道場跡）で開催致しております。
問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで



「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載しております。

<お知らせ>

近藤先生がご法話下さいました法然上人御法語「前編」が今秋刊行の予定ですが少々発行が遅れております。今しばらくお待ち下さい。
お問い合わせは、隆彦院 075-561-7581 まで